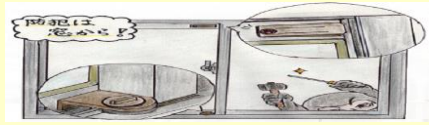
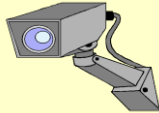
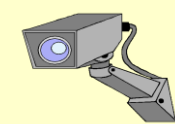


稲沢市内における身近な事件の発生状況

令和7年9月末時点（暫定値）

稲沢警察署 0587-32-0110

事件（被害）内容	発生件数（前年同月比）	犯行の手口	防犯対策例
①住宅等に侵入される被害  	92件（+46）	 ・31件が空き巣被害 ・侵入場所（住宅対象）の約6割が「窓」  「空き巣」とは、家人等が不在の住宅に侵入し、金品を窃取する犯行手口です。	  C Pマークのついた窓ガラスの導入や、窓ガラスに補助錠を設置するなどして家屋の防犯性能を向上 
②車載品の盗難被害  	28件（+6）	 約8割が無施錠での被害  車内に置かれた金品等を犯人は狙っています。	    車内に金品を置いて離れない 防犯ブザーの設置、防カメ等設置の駐車場への駐車 
③車両部品の盗難被害  	17件（+1）	 8月中、ナンバープレートが被害  盗まれたナンバーは別の犯行に使用される可能性があります。	  ナンバープレート盗難防止ネジの取付け、交換後のタイヤ等は施錠設備のある倉庫等に保管 
④自動車の盗難被害  	23件（+10）	 9月中、ハイエース1台が被害  県下では、ランクル（プラド含む）、プリウス、アルファード等が多く被害に遭っています。	   純正+αのセキュリティを複数対策（ハンドルロック、GPS等の追跡装置、イモビの追加） 
⑤自転車の盗難被害   	141件（-12）	 9月中、30件の被害のうち約8割が無施錠  約5割が駐輪場の被害、自宅や店舗駐輪場等においても被害が発生しています。	   自宅でも施錠、ソーロックの実施、防犯カメラが設置されている駐輪場等を利用 
⑥振り込め等の特殊詐欺   	17件（+2） （令和6年発生総数20件） （令和5年発生総数16件） （令和4年発生総数7件）	 息子を騙る人物から電話があり、その後現れた弁護士を騙る人物に現金を手渡してしまった詐欺被害が発生  息子を騙る手口、キャッシュカードを受け取りに来る手口、還付金名目など様々な手口に注意	   留守番電話設定の活用、防犯機能付電話の設置（詐欺の約8割が自宅固定電話への架電） 

備考1：令和6年の稲沢署管内刑法犯総認知件数826件（-49）、備考2：令和7年9月末時点の刑法犯総認知件数662件（+69）

過去5年間の交通事故分析結果



令和2年～令和6年までのデータに基づく、交通事故分析システムによる分析結果です。

分析結果

- ・人身事故は南大通り周辺で多発
- ・死亡事故は市内全域で発生
- ・死者の約7割が高齢者
- ・死亡事故の約7割が交差点で発生



令和7年の発生状況

9月末時点（ ）内は前年同月比

		稲沢署管内	
		月間	年間
人身 (人)	死亡	0 (±0)	1 (-1)
	重傷	5 (+4)	21 (+11)
	軽傷	35 (+13)	305 (+81)
	合計	40 (+17)	327 (+91)
物損 (件)		307 (-22)	2856 (+31)

備考 令和6年の稲沢署管内の死亡事故者数2名

人身事故多発時間



- ・ 7時～8時
- ・ 17時～18時



人身事故多発地域



枠内



死亡事故発生場所



印地点

事故防止のポイント



【ドライバー】

- ・ 早めのライト点灯、ハイビームの活用
- ・ 「かもしれない」運転の心掛け



【自転車】

- ・ 一時停止、安全確認の徹底
- ・ ヘルメットの着用



【歩行者】

- ・ 無理な横断をしない
- ・ 明るい服装、反射材の活用



交通違反を犯さないことが、交通事故の防止につながります。



横断歩行者妨害



一時不停止



信号無視



自転車の違反

